



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月3日

上場会社名 株式会社テンポインベーション 上場取引所 東  
 コード番号 3484 URL <https://www.tenpo-r.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 康雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理部管掌 (氏名) 志村 洋平 TEL 03 (6274) 8733  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,936	6.8	604	△9.1	693	0.6	473	△1.6
2020年3月期第3四半期	7,431	22.9	665	20.6	689	30.2	481	31.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	26.57	-
2020年3月期第3四半期	27.01	-

(注) 1. 2019年12月11日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2021年3月期第3四半期	10,243		2,859		27.9	
2020年3月期	10,233		2,546		24.9	

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,859百万円 2020年3月期 2,546百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	9.00	9.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定であります。開示が可能となった段階で、配当予想を速やかに開示いたします。

### 3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,084	1.0	600	△23.5	671	△17.3	451	△19.9	25.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	17,824,400株	2020年3月期	17,824,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	514株	2020年3月期	514株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	17,823,886株	2020年3月期3Q	17,823,904株

(注) 当社は、2019年12月11日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益、雇用情勢及び個人消費等が悪化し、厳しい状況となりましたが、緊急事態宣言の解除以降は、政府や自治体による各種施策の効果等もあり、持ち直しの傾向も見られました。先行きについては、11月以降、国内ではいわゆる「第3波」が発生し、国外では世界的な感染流行が継続するなかで、感染力の強い変異株の存在が確認される等、国内外の感染症動向や金融資本市場変動のリスクもあり、不透明な状況にあります。

当社を取り巻く環境について、外食業界においては、緊急事態宣言に伴う休業・営業時間短縮要請により、売上高、来客数が大幅に減少し、さらに7～8月及び11月以降における感染再拡大の影響もあり、特に飲酒業態においては、極めて厳しい状況が継続しました。また不動産市況については、当社が事業展開している東京主要エリアの商業不動産賃料は近年高止まりの状況が継続していたものの、感染症の影響拡大により、インパウンド売上比率が高い地域や都心型の店舗等におけるテナント募集の増加等がみられ、感染症の問題が市場に与える影響について引き続き注視する必要があります。

このような環境のなかで、当社が展開する店舗転貸借事業においては、緊急事態宣言を契機として、顧客の出店意欲の急速な低下、家賃減額要請や解約申入れの増加等が発生したため、既存出店者や家主への対応を集中的に実施し、事業リスクの抑制を図りました。緊急事態宣言の解除以降においては、まず、飲食テナントの出店意欲回復に対応し、解約申入れがあった転貸借物件へのテナント誘致活動に注力した後、ウィズコロナ時代の出店ニーズへの対応として、郊外の店舗物件仕入れに着手しました。不動産売買事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、取引の様子見傾向が顕著となった市況においても、物件売買のタイミングを的確に捉えるべく、積極的な情報収集と顧客開拓を進めました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高7,936,552千円(前年同四半期比6.8%増)、営業利益604,616千円(同9.1%減)、経常利益693,062千円(同0.6%増)、四半期純利益473,722千円(同1.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ①店舗転貸借事業

店舗転貸借事業においては、当第3四半期累計期間における新規契約件数及び後継付け件数(閉店した店舗に対し新規出店者と転貸借契約を締結したもの)の転貸借契約件数の合計は216件(前年同四半期比26.0%減)となりました。また、当第3四半期会計期間末における転貸借物件数は前事業年度末より7件減少し、合計1,677件となりました。一方、人材採用費や教育費の削減等もあり、販売費及び一般管理費は前年同四半期と比較して微減となりました。この結果、店舗転貸借事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高7,163,713千円(前年同四半期比3.9%増)、セグメント利益353,731千円(同21.6%減)となりました。

## ②不動産売買事業

不動産売買事業では、店舗転貸借事業を更に推進する為に、不動産業者とのリレーションシップ強化を目的として、店舗不動産の仕入販売や建築販売を行っております。当第3四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響により市場が不活発化する中、保有物件2件を売却し、当第3四半期会計期間末における保有物件数は1件となりました。この結果、不動産売買事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高772,838千円(前年同四半期比44.4%増)、セグメント利益250,884千円(同17.2%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ9,696千円増加し、10,243,163千円となりました。これは主に現金及び預金が562,143千円増加し、販売用不動産が250,299千円、仕掛販売用不動産が177,746千円、差入保証金が95,390千円それぞれ減少したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ303,610千円減少し、7,383,753千円となりました。これは主に未払法人税等が69,776千円、預り保証金が62,028千円、未払金が60,862千円、前受収益が56,926千円それぞれ減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ313,307千円増加し、2,859,410千円となりました。これは利益剰余金が313,307千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期業績予想につきましては、第3四半期累計期間の各段階利益において、2020年11月2日に公表いたしました通期業績予想を上回っておりますが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響により、業績予想を正確に行うことが難しい状況にあるため、今回は前回公表した通期業績予想を据え置くことに致しました。なお、今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,543,098	3,105,241
販売用不動産	467,804	217,505
仕掛販売用不動産	177,746	-
前払費用	879,302	818,974
その他	97,251	165,473
貸倒引当金	-	△750
流動資産合計	4,165,204	4,306,445
固定資産		
有形固定資産	315,382	326,991
無形固定資産	36,418	33,682
投資その他の資産		
差入保証金	5,228,238	5,132,848
その他	488,223	443,196
投資その他の資産合計	5,716,462	5,576,044
固定資産合計	6,068,262	5,936,718
資産合計	10,233,466	10,243,163
<b>負債の部</b>		
流動負債		
前受収益	1,073,109	1,016,183
賞与引当金	29,349	63,421
その他	722,998	550,808
流動負債合計	1,825,458	1,630,413
固定負債		
預り保証金	5,581,894	5,519,865
その他	280,011	233,474
固定負債合計	5,861,905	5,753,339
負債合計	7,687,363	7,383,753
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	308,394	308,394
資本剰余金	539,930	539,930
利益剰余金	1,698,160	2,011,467
自己株式	△382	△382
株主資本合計	2,546,103	2,859,410
純資産合計	2,546,103	2,859,410
負債純資産合計	10,233,466	10,243,163

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	7,431,820	7,936,552
売上原価	5,945,101	6,517,528
売上総利益	1,486,718	1,419,023
販売費及び一般管理費	821,213	814,406
営業利益	665,505	604,616
営業外収益		
違約金収入	25,098	32,196
受取補償金	4,668	64,957
助成金収入	-	25,358
その他	286	6,630
営業外収益合計	30,053	129,143
営業外費用		
支払補償費	6,463	35,849
その他	-	4,848
営業外費用合計	6,463	40,697
経常利益	689,096	693,062
特別利益		
固定資産売却益	6,304	-
特別利益合計	6,304	-
税引前四半期純利益	695,400	693,062
法人税等	213,820	219,340
四半期純利益	481,580	473,722

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項

(単位:千円)

	報告セグメント		計	四半期損益計算書 計上額
	店舗転貸借事業	不動産売買事業		
売上高				
外部顧客への売上高	6,896,757	535,063	7,431,820	7,431,820
計	6,896,757	535,063	7,431,820	7,431,820
セグメント利益	451,413	214,092	665,505	665,505

II 当第3四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項

(単位:千円)

	報告セグメント		計	四半期損益計算書 計上額
	店舗転貸借事業	不動産売買事業		
売上高				
外部顧客への売上高	7,163,713	772,838	7,936,552	7,936,552
計	7,163,713	772,838	7,936,552	7,936,552
セグメント利益	353,731	250,884	604,616	604,616